

睦会だより



昼食バイキング

6月26日、遠野コロニー・石上の園において、利用者が楽しみにしている恒例のバイキング食がおこなわれました。和洋中、たくさんのメニューが彩りよくズラリと並び、大満足のランチタイムとなりました！！

主な内容

- ◆理事長あいさつ
職員採用試験のお知らせ・・・・・・・・・・ 2P
- ◆地域生活支援拠点整備計画
多機能型施設名称募集・・・・・・・・・・ 3P
- ◆フォトグラフ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4P～5P
- ◆令和元年度事業報告・決算報告・・・・・・・・ 6P～7P
- ◆職員紹介・ご奉仕くださった方々・・・・・・・・ 8P



障がい者の地域生活支援拠点整備計画

社会福祉法人睦会では、障がい者の重度化・高齢化が進行している中で、保護者等の「親亡き後」に備えた障がい者の生活を地域で支える共生社会の実現を目指して、次の機能を有した地域生活支援拠点の整備を計画しています。

- (1) **共同生活援助** 1ユニット8名の2ユニット形式とした定員16名の24時間対応型の日中サービス支援型グループホームを設けます。居室は個室です。
- (2) **短期入所** 一時保護の必要がある場合の緊急時受け入れとして定員4名の短期入所専用室を設けます。居室は個室です。
- (3) **通所による生活介護** 通所による支援の度合いが重い障がい者に対し、遠野コロニーの従たる事業所として定員10名の生活介護専用室を設けます。
- (4) **相談支援事業** 地域や福祉施設等で生活している障がい者、就学前・就学中の障がい児等の相談に応じ、サービス利用計画を作成しながら、サービスが受けられるよう支援するため相談室を設けます。
- (5) **日中一時支援事業** 障がい者・児の保護者等の支援が受けられない場合における日中の一時支援を行います。
- (6) **福祉避難所の設置** 災害時の障がい者等の緊急避難所として30名規模の避難スペースを確保した福祉避難所を設けます。
- (7) **IWATE あんしんサポート事業の拠点として参画** 岩手県社会福祉協議会が行うIWATE あんしんサポート事業に参画し、在宅の生活困窮者等への支援の拠点として活動を行います。
- (8) **ネットワーク活動の展開** 遠野市地域自立支援協議会等を通じて、地域の関係団体との連携を図りながら、地域に必要な福祉資源やニーズを把握した活動の展開を図ります。

上記の機能を有した地域生活支援拠点の整備のため、本年度中に多機能型施設の建築を行います。施設の開所は、令和3年4月1日を予定しています。

建築場所は、遠野市のご配慮をいただき、遠野コロニーに隣接する市の敷地内としています。

多機能型施設の「名称」を募集します。

新たに建築する地域生活支援拠点としての多機能型施設は、岩手県が所管して整備する第1号の建物となります。つきましては、新しい施設にふさわしい名称を募集します。ふるって応募ください。

- ① **応募方法** 応募用紙に名称を記入し、遠野コロニーに設置しております回収箱に投函もしくは郵送願います。社会福祉法人睦会のホームページにも掲載していますので、メールによる応募でも構いません。
- ② **募集期間** 令和2年7月20日（月）から令和2年9月30日（水）まで
- ③ **募集範囲** 遠野市にお住まいの皆様
- ④ **募集基準** 岩手県内の社会福祉施設等の名称と重複しないこと。親しみのある名称とすること。
- ⑤ **採用方法** 応募いただいた名称をもとに、社会福祉法人睦会で協議し、最もふさわしい名称を採用させていただきます。なお、採用させていただいた方には、粗品を差し上げます。

※ 応募用紙は、遠野コロニーの窓口で用意しています。

お問い合わせ・郵送先

遠野市早瀬町3-16-39 社会福祉法人睦会事務局（遠野コロニー内） ☎62-5631
ホームページ：<http://www.mutsumi-ono.or.jp/>

あいさつ



理事長
新里佳子

日頃より当法人事業に対し、格別のご理解とご協力を賜わり心から感謝と御礼を申し上げます。

二〇二〇年も早や半年が過ぎましたが、今年は新型コロナウイルスの影響が大きく影を落としています。利用者さん達が毎年楽しみにしている「ここに運動会」が中止になり、今後予定されていた八月の「盆おどり会」、九月の「いしがみ祭」も同様に中止を決定したところです。しかしながら何らかの形で利用者さんの心と体のリフレッシュが出来る機会を設けたい、というのが役員共通の認識であります。

さて、現在当法人では「地域生活支援拠点」の整備を進めているところです。法人設立から四十三年を迎え、利用者さんご家族からは盛んに「親亡き後」を心配される声が寄せられております。利用者さんの高齢化や障がいの重度化はここ数年

で顕著になっていますが、老人介護施設においても待機者が相当数おられ、すぐに移行できる状況ではありません。そうであれば自前で住み慣れた遠野でより安心して暮らせる場をつくり出すべく、設備的にも高齢・重度化に対応できるグループホームに相談支援事業所を併設し、福祉避難所としての多目的スペースも兼ね備えた施設を、令和三年四月の事業開始を目的に計画を進めているところであります。場所は遠野コロニー隣地のグラウンドで、完成した際にはコロニーとも連携を図り、早瀬の地が障がい福祉のまさに拠点となる日を心待ちにしています。

それとともに大事なことは「人材」「人材」です。施設が整備されても働く職員がいなければ事業運営はできません。当法人では地域生活支援拠点の整備に向け二年前から人員増強を図っており、今年も十月に職員採用試験を行う予定です。障がい者支援に関心がある方の応募をお待ちしております。

来春にはあたたかな春風の如く、新たな事業が開始できるよう鋭意努力して参りますので、関係各位には更なるご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

職員採用試験のお知らせ

社会福祉法人睦会職員採用試験を次のとおり行います。この試験は、令和三年四月に採用する職員の予定者を決めるために行うものです。

★職種及び採用予定人員

- 看護師 二名
- 生活支援員 三名
- 事務員 一名

★試験の日時

令和二年十月十日（土）
午前九時三十分から

★試験会場

障害者支援施設「遠野コロニー」
（遠野市早瀬町三丁目十六番三九号）

受付期間は、日曜日、土曜日、及び祝日を除き、令和二年九月十一日（金）から令和二年九月二十五日（金）までです。

※受験の要件等詳しいことは、社会福祉法人睦会事務局（遠野コロニー内）にお問い合わせください。

また、ホームページ（<http://www.mutsumi-ono.or.jp/>）にも掲載しております。

住所 遠野市早瀬町三丁目十六番三九号
電話 〇一九八―六二―五六三一



グループホーム避難訓練
(ほっぷ)



朝は毎日ラジオ体操!
(遠野コロニー)



自治会お花見会・歓迎会
(遠野コロニー)



お寿司の日 (遠野コロニー・石上の園)



節分豆まき【歳祝い】
(各施設・事業所)

☆農産園芸 (石上の園)



☆製品加工 (全施設)



作業風景



☆印刷【紙・布】
(コロニー・石上の園)



☆クリーニング
(コロニー・石上の園)



日中活動【花植え】 (多賀の里・結和)



青空給食【ジンギスカン】 (遠野コロニー・石上の園)



バイクング食 (遠野コロニー・石上の園)



リサイクル事業を 石上の園へ移転



多機能型施設建築にあたり、これまで遠野コロニーを回収場所としておこなっていたリサイクル事業を、綾織町の『石上の園』に移転しました。集めた資源は、利用者が洗浄や仕分けをおこなって、再生資源として業者に引き取っていただき、利用者の工賃に反映されています。皆さんのご家庭で出たペットボトル・アルミ缶・スチール缶・段ボール・紙類等、ぜひ石上の園までお持ち寄りください。よろしくお祈りします!



【お問合せ * 0198-60-1100 (石上の園)】

お弁当のご注文は

『御食事処 結和』へ!

ゆうわ

『多賀の里』でのお弁当販売を、綾織町にある『御食事処結和』(ローソン遠野綾織町店様隣)に移しおこなっています。お弁当の他、オードブル等も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。御食事処においても、夏メニューの提供を始めています。産直を併設し、地元産の野菜や当法人の授産製品なども販売しておりますので、ぜひお越しください!



【お問合せ * 0198-62-1560 (結和)】

☆嘱託医として、
遠野コロニーには
時田医院の熊坂康
二先生、石上の園
にはあいずみ内科
医院の相墨仁先生
に来ていただいで
あります。



利用者の皆さんが心身ともに健康に過ごせるように、各施設・事業所において、年一回の健康診断、通院支援、服薬支援、定期的な血圧・体重測定などをおこなっています。遠野コロニー及び石上の園においては、月に一回、嘱託医の先生による回診を実施しており、健康状態のチェック、病気の早期発見、予防に努めています。

また、毎年おこなっているインフルエンザ予防ワクチン接種の他、新型コロナウイルスやその他の感染症予防のため、定期的な検温、施設内のこまめな消毒や手洗い・うがいの徹底等、感染症対策に取り組んでまいりました。

今後も利用者の皆さんが健康で充実した生活を送れるよう、健康管理に努め、支援していきたいと思っております。

健康管理への取り組み



【障害福祉サービス事業所 ほほえみ】

他事業所への移行や一人暮らしをしたいなど新たな生活を希望する方、グループホームでの生活に馴染めない方など様々な利用者がある中で、世話人との意思疎通を密にし日々のグループホーム訪問を行いながら、個々の利用者に応じた支援、快適な居住環境づくり、日中活動に努めてまいりました。

【相談支援事業所 らいと】

相談支援専門員2名体制で計画相談と遠野市からの委託相談業務をおこなってきました。委託相談を経て障がい福祉サービスにつながるケースが多いため、地域で生活する障がいのある方々に対し、最適な障がい福祉サービスを総合的かつ効率的に受けられるように、また、地域社会で自立して日常生活を営むことができるよう各種相談に応じてまいりました。(延べ相談件数 2,405 件)

令和元年度 決算報告

法人全体の純資産は8億4,539万円となり、前年度末と比較して2億6,267万円減少しました。資金収支計算書の当期資金収支差額は3,616万円の赤字となり、前年度対比でも3,077万円減少しました。総体的には、前年度実績よりもやや落ち込みましたが、経営に影響を及ぼす状況ではなく、良好な経営内容でありました。

【財産目録】

(単位：円)

資産の部	953,293,280	負債の部	107,898,802
流動資産	394,593,279	流動負債	50,654,861
現金預金	305,743,228	事業未払金・未払費用	25,171,649
事業未収金	80,962,196	賞与引当金	19,128,000
その他	7,887,855	その他	6,355,212
固定資産	558,700,001	固定負債	57,243,941
基本財産	381,010,499	設備資金借入金	10,000,000
その他の固定資産	177,689,502	退職給付引当金	47,243,941
差引純資産	845,394,478		

【事業活動計算書】

○収益の部

サービス活動収益	583,805,393
就労支援事業収益	137,529,495
障害福祉サービス等収益	445,969,726
自立支援給付費収益	380,086,999
利用者負担金収益	42,632,164
補足給付費収益	9,072,340
その他の事業収益	14,178,223
経常経費寄附金収益	306,172
サービス活動外収益	2,870,451
特別収益	20,014,001
合計	606,689,845

○費用の部

(単位：円)

サービス活動費用	619,396,600
人件費	338,756,758
事業費	78,258,207
事務費	58,184,713
就労支援事業費用	131,685,560
減価償却費	20,161,075
国庫補助金等特別積立金取崩額	Δ7,649,713
サービス活動外費用	3,233,474
特別費用	20,014,012
合計	642,644,086

令和元年度 事業報告

法人の基本理念、障がい者支援に向き合う基本姿勢を堅持しながら、さらなる支援内容の質の向上に努めるとともに、法人・施設における経営の健全化、充実したサービスの提供に努めてまいりました。

また、障がい者の地域生活支援推進のため取り組んできた地域生活支援拠点整備に関し、国庫補助の交付決定が得られ、整備に向けて大きく前進しました。

【障害者支援施設 遠野コロニー】

以前の身体障がい者への支援に特化した福祉施設から徐々に知的障がい、精神障がいが多くなる障がいの方々の利用が増えていることに伴い、その障がい特性に合わせたサービスが提供できるよう、職員のスキル向上に努めました。また、隔年で開催している納涼祭を行い多数の地域の方々にご参加いただいたほか、附馬牛小学校との交流会や障がい者スポーツ大会競技への参加、またその大会プログラム用挿絵に利用者数名が応募したデザイン画が採用されるなど積極的な社会参加を促進しました。生産活動において、主体となる印刷部門では、県の共同受注窓口からの受注が増えたこともあり高い利益を上げ、他部門でも前年度並みの実績ではあったものの地域に貢献する姿勢が高く評価され、全体として工賃の向上に結びつけることができました。日中一時支援事業においては、市内に居住する障がい児を対象に、放課後支援及び学校の振替休日、長期休業時の支援を行いました。(延べ利用人員 886 名)



納涼祭



青空給食
シンキスカン

【障害者支援施設 石上の園】

日中活動支援棟における生活介護利用者を対象としたサービス提供をスタートさせたことにより、精神的に不安定であった利用者や強度行動障害等が見られる利用者に対しての一元的支援が可能となり、一定程度のサービスの質の向上を図ることができました。利用者支援においては、利用者の重度化・高齢化に対応すべく職員の専門的支援の知識・技術の習得を図ったほか、医療機関や家族等との連携を図りながらその支援に当たりました。また、地域住民の方々の参加、協力を得ながら施設の恒例行事を実施し、開かれた施設・ふれあいの場の創設に努めたほか、岩手県下で開催されるマラソン大会や各種スポーツイベント等への積極的参加支援を行いました。生産活動にあっては、利用者の自立を実現するために高工賃の実現を目指し、その実践に努めました。



いしがみ祭



マラソン大会参加

【障害福祉サービス事業所 多賀の里】

消費税が10%に引き上げられたことに伴い、事業の見直しを図りながら事業所運営が適正に行われるよう努めました。その中で、利用者あつての事業所であることを自覚し、穏やかで安心した日々の中で生産活動や行事等に参加し、充実した日中活動が送れるよう相談活動や支援に努めました。生産活動においては、消費税増税に対応するため宅配弁当の価格改定を行うなど適正な利益を確保し、利用者の工賃に反映させられるよう努めました。製品加工事業においては、利用者の希望やペース等を考慮し、受託先企業と連携を図り多様な作業提供に努めました。「結和」では、御食事処、産直、製品加工部門を併設し、地域に根差した事業所を目指し活動しました。御食事処では、注文弁当への対応や法人広報を通じたPRを活用した宅配弁当にも積極的に取り組み、売上の向上と地域への貢献に努めました。産直部門ではJA・Aコープ商品の仕入れ販売等を通じて店舗の充実に努めました。



リフレッシュ外出



クリスマス会

職員紹介



遠野コロニー 栄養士
佐々木 恵理 (32歳)
 ささき・えり

趣味 懸賞応募
 特技 料理

【一言】

平成31年4月から栄養士兼調理員として石上の園勤務、9月からは遠野コロニーの栄養士として勤務しております。利用者さんから「おいしかったよ」と声をかけられるととても嬉しく、やりがいを感じます。

利用者さんの希望食や季節食、バイキング食など様々な行事食が年間を通してありますので、旬の食材を取り入れながらバラエティに富んだ献立を考えていきたいと思ひます。また、食事で利用者さんの笑顔がたくさん見れるように頑張っていきたいと思ひますので宜しくお願いします。



石上の園 生活支援員
小笠原 優奈 (20歳)
 おがさわら・ゆうな

趣味 旅行やコンサートに行くこと
 特技 指の関節がやわらかいこと

【一言】

令和2年4月から生活支援員として働かせていただいています。初めての職場でわからないことも多々ありますが、先輩職員の皆様に助けていただきながら働く毎日です。また、利用者の方々と関わる中で一日一日に新鮮さがあり、大変ではあるものの楽しく過ごしています。

これから経験を重ねていく上で、仕事に対する丁寧さ慎重さを忘れずに頑張っていきます。そして、障がい福祉では何が大切かを自分の中で見出していければと思ひます。

ありがとうございました

ご奉仕くださった皆さま
 (令和2年2月～令和2年6月)



遠野十八年会喜寿を祝う会様 / 2月27日

- 遠野商工会女性部様
 タオル・
 ボックステイツシユ寄贈
- 菅原秀子様
 ボックステイツシユ寄贈
- 新田しず子様
 鶏卵寄贈
- 菊池恵美子様
 野菜寄贈
- 及川鈴子様
 マスク寄贈
- 遠野物語ファンタジー事務局様
 観劇招待
- 遠野ブランド海外輸出協議会様
 マスク寄贈
- 遠野十八年会喜寿を祝う会様
 金一封寄附

編集後記



遠野コロニーの食堂で自治会のお花見会が5月にありました。コロナウイルスの影響で外出を控えていた時期でしたので利用者みなさんはとても喜んでいました。お花見会ではカラオケもあって大盛り上がりでした。みなさん懐かしい歌謡曲や演歌が得意で自慢ののどを披露していました。

歌には悲しみや喜びといった、人の様々な感情を表現する歌詞やメロディーがあって、聞く人が共感し、心をも揺さぶるものだと感じます。昨今ではコロナウイルスで大変な医療従事者を励まし、感謝する歌手もいました。人に「ありがとう」という気持ちを歌に託すこともできるんですね。

我が家でもこの間、妻が「好きよ～、あなた～、今でも～今でも～」とつぶやくように歌いましたので私もちょっと顔を赤らめました。すかさず妻に、「いや～CMにつられて歌ってしまった～」とゲラゲラ笑われました。

地域生活定着促進研修会を実施

2月13日、「地域生活定着促進研修会」を石上の園で行いました。障がい者施設には、矯正施設に入所している障がいをもつ方に、退所後の住まいの場や日中活動の場を提供するという役割もあります。その体制づくりの一環として、地域生活定着促進支援センターと盛岡保護観察所にご協力をいただき実施したものです。お二人の講師の方からは、保護観察所の役割や地域生活移行への具体的な事例などをお話いただきました。利用者に関わる際の姿勢や心構えを改めて考える機会にもなり、大変参考になる研修でした。今後の支援に生かしてまいります。

